

新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	主要地方道 棧原小茂田線 上見坂工区	事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県対馬市厳原町北里 至：長崎県対馬市厳原町若田	延長	2.7 km		
<p>事業概要</p> <p>棧原小茂田線は、対馬市厳原町棧原から同町小茂田に至る延長18kmの対馬下島における主要な幹線道路である。下島全体が山岳地帯で起伏が厳しい中であって、本路線は標高350mの峠を越える横断軸となるものであり、西沿岸地区住民にとって、島の玄関口となる、空港・港や行政・商業地が集まる東沿岸地区とを連絡する重要な道路である。そのため、1.9kmのトンネル建設により約7.3kmの距離短縮を行なうと共に、路線全体の未改良区間の解消（2車線整備済み）を図る。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>路線全体のうち、東西沿岸域の8kmは道路整備済み区間であるが、残り10kmは峠越えの急カーブ・急勾配が連続する。このため、救急救命活動はもとより、通勤・通学等の日常生活へ支障をきたし、また、地域産業の発展を大きく阻害する要因となっている。</p> <p>このため、トンネルを中心とした道路整備により、住民の生命を守り、暮らしに安心感を与え、さらには、地域経済の発展に貢献できることを目的に道路整備を行なう。</p>					
全体事業費	50億円		計画交通量	1,300台/日	
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

対馬市佐須坂トンネル整備促進協議会より佐須坂トンネルの早期整備について要望されている。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている。
沿線自治体や地元協議会から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境となっている。

事業評価結果

担当課：九州地方整備局地域道路課
担当課長名：春田 義信

費用対便益	B/C	1.1	総費用：43億円 （事業費：42億円 維持管理費：0.28億円）	総便益：46億円 （走行時間短縮便益：42億円 走行経費減少便益：2.6億円 交通事故減少便益：1.3億円）	基準年 平成20年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.0 (交通量 -10%)	B/C=1.2 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.0 (事業費 +10%)	B/C=1.2 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C=1.0 (事業期間 +2年)	B/C=1.2 (事業期間 -2年)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない		
		事故対策	—	注目すべき影響はない		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	○	・第二次救急医療施設対馬厳原病院への搬送時間短縮に寄与する。 (小茂田地区～対馬厳原病院 32分→17分)		
		地域経済	○	・小茂田地区から重要港湾厳原港への所要時間短縮に寄与する。(32分→17分) ・小茂田地区から対馬空港への所要時間短縮に寄与する。(45分→29分)		
災害		○	・H17 防災点検(要対策箇所)2箇所の解消に寄与する。 ・冬季交通障害区間(路面凍結による交通規制箇所(7回/年[H17]))の解消に寄与する。			
環境		○	・CO2排出量の削減 685t-CO2/年			
	地域社会	○	・主要な観光施設へのアクセス向上に寄与する。 (効率的な観光ルートの形成が図られる。)			
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 「対馬市佐須坂トンネル整備促進協議会」より強い要望があり、整備促進に対して協力的である。 特別立法（離島振興法）に基づく事業である。 				

採択の理由

事業主体である長崎県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.1と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、重要港湾である厳原港の利便性の向上、防災点検要対策箇所の解消、第二次救急医療施設対馬厳原病院への搬送時間短縮など、当該事業の整備の必要性・社会全体への効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。